

熊中soulを発揮しました

熊中

クールないかした生徒
 マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒
 ニーズがある(必要とされる)生徒
 シーンを創れる場面を演出できる(生徒)

校長室だより
 第 10 号
 北九州市立熊西中学校
 校長 江口 恵子

奇跡的に体育大会開催

九月十九日(月)、第六十九回体育大会を開催しました。ちょうど台風が接近し、日曜の開催を延期しての実施でした。それも、いつ雨が降り出してもおかしくない状況の中で、閉会式以外のすべてのプログラムを実施できたのは、まさに奇跡でした。きっと全校生徒の気持ちが生徒が天に通じたのでしょう。

今年の体育大会のスローガンは、「団結3200の熊中soul」でした。このスローガンには、全校生徒が熊中soul(熊西中の精神=熱いハート、本気の心、団結力)を発揮して挑戦し、最高の体育大会にしようという気持ちが込められています。そのため、短時間の練習でしたが、生徒たちは

表彰

- 九州合唱コンクール
銅賞 合唱部
- 北九州市陸上競技大会
福岡県中学校総合体育大会
女子1年100m
第2位 1年 山本 美徳
- 北九州市放送コンテスト
アナウンス部門 入選
3年 越尻 亜美
朗読部門 入選
3年 垣田 実里
- 福岡県水の作文コンクール
入選 3年 堀内 知果
- 九州中学校体操競技大会
出場 2年 松本 侑真



パワー全開学年競遊

今年の体育大会にかけての意気込みは、校舎を見ても一目瞭然でした。各学年の目標が掲げられていて、実に鮮やかでした。



カラフルな横断幕

気持ちを一つにして、まさに本気の心で取り組みました。



伝統を誇る集団演技

七年目を迎えた本校伝統の集団演技、「熊中SOUL 320」。全校生徒が腕を振り、足を上げ、列をそろえ、声を上げ、心一つにして歩く姿はみごとでした。

学年競争遊技では、どの学年の生徒たちも全力を尽くして競技に打ち込み、燃えたぎる闘志(熱いハート)を見せてくれました。

その他にも、全員リレーをはじめとする各種リレー、アスレチック競走や棒引きなど、手に汗を握る熱戦が繰り広げられました。

演技前のアナウンスにもありましたが、本校が今、大切にしているのは、凡事徹底(当たり前のことを当たり前前に、徹底して行うこと)です。『たがが行進、されど行進』、魂のこもった演技に、その一端をうかがうことができました。また、演技後、深々と頭を下げる姿に、ご家族や地域の方々、教職員への感謝の気持ちが伝わり、胸が熱くなりました。成績は、三組ブロックの優勝(学年別優勝は、一年一組、二年一・二組、三年三組)でしたが、だれもが自分たちの健闘をたたえ合っていました。天候の様子を見ながらの実施で、プログラム変更が相次ぎ、ご迷惑をおかけしましたが、最後まで熱い声援を送っていただきました保護者の皆様や地域の方々へ感謝いたします。